札幌社保協 FAXニュース

２００９年 １月19日(月)
社保協事務局　発行
℡823-0867　Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期高齢110番は、1月29日(木)です。

共同を広げ、たたかいと運動の中で１０周年

札幌社保協結成10周年記念講演会・レセプションを開催

札幌社保協結成10周年の記念講演会とレセプションが1月10日に開催され、記念講演に90人、レセプションに80人の各界の方々にご出席いただきました。皆様のご協力ありがとうございました。

1部の記念講演では、高崎裕子札幌社保協代表委員・弁護士が「憲法と社会保障」－人間らしく生きることを求めて－と題し、記念講演を行いました。

2部のレセプションでは甲斐道社保協事務局長、紙智子参院議員の来賓ご挨拶や、各界参加者からのスピーチをいただき、今年も多くの団体、個人と共同して社会保障、暮らしを守る運動をすすめようという、新年の大きな決意と交流の機会となりました。

介護保障・医療・福祉の充実へ
札幌に社保協できる

↑高崎代表による記念講演会。
→１０年前の結成の様子を伝える新聞
←レセプションでの皆さんの様子

家族、支援する会のきずなを深め、生存権裁判をがんばろう!

支援する会・原告団で旭山動物園見物

生活保護母子加算の削減・縮小に反対し訴えている原告とその家族を励ますために、生存権裁判を支援する会は、１月１７日に旭山動物園見物を行いました。

原告４人とその家族、審査請求者と家族、原告世話人、弁護団、道・札幌社保協などの支援者のほか、北大の教員・学生のボランティアなど３３人が参加しました。札幌からバスで動物園へ向かい、バスの中でもゲームで楽しみながら行きました。

旭川は天候もよく、動物園入り口で全員の記念写真を撮った後、数組に分かれて園内を回りました。人気の白クマ、アザラシ、ペンギンの所では、子供たちはもちろん大人たちも大喜びでした。特に冬の大人気である、ペンギンの行進には人垣ができる程でしたが、参加者一同見物できて大満足でした。

帰りのバスで、参加した子供たちからは、「狼がよかった」「レッサーパンダがよかった」「おもしろかった」などロロに、喜びを語ってくれました。

生存権裁判を支援する北海道の会 第2回総会

日時：２月７日(土)13:30～16:30
会場：市社会福祉総合センター4階大研修室
【記念講演】
「社会保障の歩み」～朝日訴訟から～
小川 政亮 生存権裁判を支援する全国連絡会会長、日本社会事業大学名誉教授
参加費：なし